

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	三連梯子を水平に伸ばして渡河に使用した事案
3. 体験した事例の中心的要素	その他火災に出動し現着すると、火災現場は、用水路(川幅約6m)の対岸にある田んぼであったため、進入路を変更するよりも、直接、用水路を渡った方が早く現場に着くと判断し、三連梯子を全伸梯して橋の代わりに使用した。隊員が三連梯子を渡ろうとしたところ、梯子の安定が悪く転落し、怪我は無かったものの無線機を水没させてしまった。
4. 体験した事例の原因・理由	場所(進入路)を把握していなかった。

### 【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

### 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成26年1月18日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：田んぼ
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、その他：転落して無線機を水没させてしまった。
7. 事例体験時の活動	火災現場到着、[ その他:枯れ草火災 ]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	ホース延長
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[53]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[30]年、階級[消防司令補] 同様の活動[初めて]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[38]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[20]年、階級[消防司令補] 同様の活動[初めて]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[32]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士長] 同様の活動[初めて]、任務[隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	三連梯子を伸ばすように指示。	
経過2	当事者B	三連梯子を伸ばす支援	
経過3	当事者C	三連梯子を伸ばした。	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思ふか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思ふか？

他隊(員)との連携活動がうまくいった。 たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	はい

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】

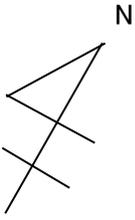


○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

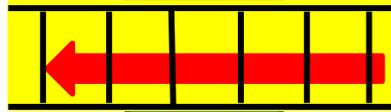


三連梯子 

 三連梯子を伸ばした位置

進入経路 

タンク車 



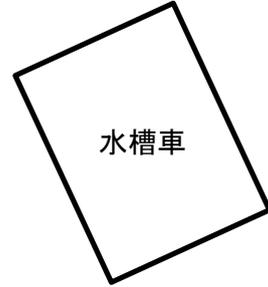
この位置で伸ばした  
当事者C 

※三連梯子を全伸梯し、水平  
使用をして、橋代わりにした。

※地盤も悪く、三連梯子が揺  
れて当事者Aが転落してし  
まった。



 当事者B  
落ちないように確保  
していた。



水槽車

 当事者A  
この位置で指示



用水路

川幅約6m・水深50  
cm

火災現場の田んぼ

火 

